

まき網漁業 公表用実技試験問題（初級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 装着物を外し、正しく収納する。
(使用機材) 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（3分）

- ① かえる又結び ② もやい結び

(使用機材) 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 網針に網糸を巻く（1分）

現場で使用している網針に2mの網糸を巻く。

(使用機材) 通常使用する網針、2mの網糸

(3) 2枚の網地の縫合（5分）

網針と網糸を使い、網地2枚を20目以上縫合する。

(使用機材) 20目以上の網地、網針、網糸

3. 漁具・漁労機械の操作

※ (1)、(2) のどちらかを選択する。

(1) ワーピングエンドの操作（10分）

ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘（鉛錘、鉄錘、サンドバック或いはプラスチック缶に水を入れたもの等）を取り付けておく。

(使用機材) ロープ50m、ワーピングエンド（キャプスタン、縦ローラー或いは横ローラー）

(2) 水中集魚灯の操作（15分）

- ① 水中集魚灯を水面直下まで下ろし、灯火。
- ② コードを操作し、降下。指定された水深まで水中集魚灯を降ろす。
- ③ 水面直下まで上昇させ、消灯。
- ④ 集魚灯を収納する。

(使用機材) 水中集魚灯（コードがリールに巻かれているウインチと一体のものでも、手作業でコードを捌くものでも良い。）、集魚灯の操作盤

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

まき網漁業で獲れる魚の写真20枚を見て、魚種ごとに選別を行う。（試験地により3種類以上の魚種を組み合わせる。）

(使用機材) 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上